

フルカスタマイズの クラウドコンピューティング

株式会社テクニカル・ユニオン
常務取締役 戸倉正貴



「これからのIT技術の主流は、完全にクラウドコンピューティングになるだろうと予測しています。当社は、データセンターと端末間的高速回線網やメモリー容量が拡大し、このサービスの技術的なインフラが整った3年前から、自社でシステム開発費や人材を割けない中小・零細企業に特化したクラウドによるASPサービス、業界に先駆けてスタートしました」と、横浜商科大学でクラウドコンピューティングの非常勤講師を務める戸倉氏は語る。すでに首都圏を中心に関西や九州の約30社あまりの企業に同サービスを提供中である。

まず百聞は一見に如かずで、同社のクラウドシステムを導入した東京都大田区のフラス樹脂加工会社の事例を紹介しよう。典型的な大田区の町工場であるE社は、従来発注元の大手電機メーカーからFAXで図面を受け取り、それを本社と埼玉や千葉の3工場を手分けて加工を行っていた。従来は3工場から作業状況の日報が夕刻FAXで本社や各工場に届いていたが、同社のクラウド導入後は3工場の作業工程ごとにデータをインプットすることによって、本社で3工場の進捗状況がリアルタイムに把握が可能となった。このため、受注図面をコンピュータに取り込んだ後、3工場の作業進捗状況をみながら、加工を依頼する工場に的確に納期と作業指示をだすシステムに変えた。さらに、3工場が手一杯で納期に間に合わない時には、外注の工場も使っていたが、この外注先にもこのクラウドのシステムを導入し、「受注加工製品のトレーサビリティが本社や3工場はもちろん、自宅のパソコンでもリアルタイムに把握できるようになり、生産工程管理の効率が格段に上がった」（E社常務）という。また、この生産工程の「見える化」と連動して、発注元の大手電機メーカーに送る請求書の加工賃や加工時間、預かった原材料の報告等が、自動的に算出され、「導入前は書類の

山だった販売・売上管理の作業も大幅に軽減された…。お陰さまで、この不況の中でも堅調な業績を維持しています」（同常務）とクラウドによる経営革新を高く評価する。

革新的なIT技術の凄みを実感した32年

「中小・零細企業の場合、自社で同様のシステムを構築するケースに比べ、はるかに安いコストで最新のIT技術が導入できることが一番のメリットです。顧客企業のオーダーメイドにより開発し、最低月額料金は6万円から構築できます。さらに、顧客管理や給与計算、売掛金管理、財務会計…などの当社の蓄積されたノウハウと技術力を駆使すれば、クラウドによるERP導入——つまり基幹業務全体を「見える化」し、リアルタイムの収益も把握可能となります。もちろん、クラウド導入には顧客と厳格な秘密保持契約と万全なセキュリティ対策が前提となりますが」と戸倉氏はこの新技術導入が大手企業に負けないスピード経営をもたらす効用を説く。

1977年創業の同社は、銀行オンラインの技術を手掛けた経験からハードとソフト両方のファームウェアによるネットワーク技術に強みをもつ。また、設立以来その技術指向を鮮明にした徹底的な開発の内製化を貫き、顧客満足度を高めるため「エンドユーザーとの直接取引・開発によるフルカスタマイズ」を金科玉条に事業を進めてきた。こうした開発姿勢と技術力が評価され、複数の流通業大手の物流システム開発を一手に引き受け、これらの技術蓄積が中小・零細企業向けクラウド技術で先行できた理由となっている。「この32年間で、当社の開発したシステムで事業を成長させた顧客企業を目の当たりにし、革新的なITシステムの凄みを実感してきました。今後の主流となるクラウド技術でも月額レンタル料金の低コストで中小・零細企業の経営革新をサポートしていきたい」と戸倉氏は力強く締めくくった。